

内閣総理大臣賞(1件)

受賞者名

積水ハウス株式会社

内閣総理大臣賞

所在地

大阪府大阪市

受賞テーマ

工業化住宅における継続的なゼロエミッション活動

- 業界初の4部門ゼロエミッションの達成 -

同社は、業界で初めて住宅部材生産、新築施工、アフターメンテナンス、リフォームの4部門でゼロエミッション (再資源化率 100%)を達成。さらに、自社の中古住宅を最新の仕様に再生・販売する新しい事業により、住宅自体 の長寿命化・循環使用を図る等、住宅業界における3R推進の先導的役割を果たしている。

1.住宅部材工場にけるゼロエミッション達成

外壁・内装材等の住宅部材の生産工程から発生する各種廃棄物・副産物について、同業他社に先駆けて 2002 年にゼロエミッションを達成した。

2.新築現場におけるゼロエミッション達成

他社に先駆けて住宅新築現場廃棄物の徹底分別回収を実施し、2005年に全国の現場でゼロエミッションを達成した。 従来、困難とされていた新築現場廃棄物の徹底分別を実現した主なポイントは以下の通り。

多様な新築現場廃棄物を的確に分別するガイドの策定、 現場作業員に対する環境教育・啓発、 建設業界初の 広域認定の取得、 散在する住宅新築現場から発生する少量・他品目の廃棄物を効率的に回収するとともに、回収・リサイクルした廃棄物の種類・量・流れ等の情報を一元管理するシステム「ぐるっとメール」の開発、等。



住宅新築廃棄物の効率的な回収・リサイクルを可能とした「ぐるっとメール」システム



業界初の広域認定制度による住宅工事現場廃棄物のリサイクル

3.アフターメンテナンスにおけるゼロエミッション達成

販売した住宅の定期点検・補修時には、新築工事とは異なる廃棄物が発生する。同社では、これらのアフターメン テナンス廃棄物についても詳細な分別ガイドを策定し、約70万戸の住宅を対象に行われるメンテナンス業務から発生 する廃棄物について、2006年3月にゼロエミッションを達成した。

4.リフォーム工事におけるゼロエミッション達成

リフォーム工事は、工期が短く、既存建材の部分解体が伴うため、廃棄物の分別は新築工事よりさらに困難とされ ていた。同社では、工事の類型化(7分類)と工事種類毎の分別内容の取り決め等により、関連企業の積水ハウスリ フォームが行うリフォーム工事から発生する廃棄物について、2007年10月にゼロエミッションを達成した。

▼ 資源循環センターへ運搬

▼ リフォーム施工現場で の分別作業



▼ 資源循環センターで さらに分別を行う





以上により同社は、業界で初めて、工場・新築・メンテナンス・リフォームの4部門全てにおけるゼロエミッショ ンを達成した。

5. 中古住宅の再生事業

自社の中古住宅を買い取り、まだ使える構造体を活用しつつ、純正技術により、現在の耐震基準や断熱性能、最新 設備を備えた住宅に再生して再分譲する新しい事業「エバーループ」を実施。これにより、住宅自体の循環使用・長 寿命化を図るとともに、住宅の建て替えに伴って発生する建設副産物を約70%以上削減する等、省資源と環境保全 に大きな効果を上げている。

- 1.基礎と構造躯体(スケル トン)を残して解体
- 2. 開口部に高性能複層ガラ スを採用。壁内部には新 築と同じ断熱材を充てん







以上のように同社は、工業化住宅のライフサイクル全般(部材生産 新築施工 メンテナンス リフォーム 中古 住宅)における3尺について先進的な取り組みを行うとともに、広く取り組みの情報を開示し、業界全体の3尺推進 に寄与している。具体例としては、同社が業界初の広域認定を受けた後、そのシステムを参考に、他社も追随して認 定を受けるケースが出てきたことや、新築施工現場におけるゼロエミッション活動において、同社のモデルが多く採 用されていることが挙げられる。